

第11回 岡山市公共交通網形成協議会 議事要旨

日時：令和6年2月2日（金）14:30～

場所：勤労者福祉センター5階大会議室

1. 議事

(1) 岡山市地域公共交通計画（案）について

(2) 岡山市地域公共交通利便増進実施計画（案）について

2. 委員からの主な意見

	意見等
阿部教授	<ul style="list-style-type: none">計画は非常に充実した内容になっている。今後は、これを着実に実行していくことと、利用者の目線を忘れずに取り組んでいくことが重要。また、今回の計画を、市民にわかりやすく伝えていくことも重要。
神田教授	<ul style="list-style-type: none">「考えるよりも、実行してみて、修正し、また実行する」これを早いサイクルでやっていくことが重要。公共交通を利用する文化を創るということを大切にしていきながら、これからも皆さんと協力してやっていきたい。全体の利用者数や運賃収入よりも、市民の何パーセントが公共交通を利用しているか、ということが重要。
連合町内会	<ul style="list-style-type: none">利用者数が増えなければ意味がない。行政主導で取り組んでいくのであれば、まずは、市の職員にも率先して公共交通を利用する姿勢を示してもらいたい。
障害者団体 連合会	<ul style="list-style-type: none">車両や駅ホームなど、公共交通のバリアフリー化を推進してほしい。
岡山 電気軌道	<ul style="list-style-type: none">地域公共交通計画は、前回の協議会での指摘が丁寧に反映されており、公共交通の厳しい現状を立て直すのに相応しい内容となっている。利便増進実施計画は、分科会の中で官民がしっかりと議論し、現場の事業者の意見を反映していただいたこともあり、非常に精度が高い内容となっている。ネットワークを階層化し、支線に対して公設民営方式を導入するというのは全国初だと思う。事業者の自力で経営を行うと、どうしても支線の部分がサービスとして弱くなってしまうので、大変喜ばしい。東山電停での乗り換え環境の整備は、早急に取り組んでいきたい。利用していただけるようにすることが重要であり、路線再編とあわせて利用促進を実施していただきたい。利用を増やすことは事業者の責任でもあるが、行政と一緒に取り組んでいきたい。収支改善については、やってみないとわからないが、まずはやってみることが大事。少しでも早く実現し、利用者にとって使いやすい路線へ再編していくとともに、乗務員にとって働きやすい環境を官民で築いていきたい。
岡山 商工会議所	<ul style="list-style-type: none">分科会で、官民それぞれ現場の方々で議論して計画を作り上げたという経緯が大変すばらしい。公共交通空白地域に新たなバス路線ができることは大変すばらしい。市民病院や南区役所へのアクセスなど、以前から市民が要望していた問題が今回の計画で改善する。やはり、現場の方々で作り上げていくと素晴らしい案になる。ぜひ、第2弾、第3弾と継続して打ち出していきたい。

